

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年 3月31日

| 法人名  | 機器導入事業所名                                   | 施設の種別    |
|--|--|----------|
| 社会福祉法人 千寿会   | ショートステイ<br>ゆうしゅう園八幡<br>(事業所番号:1272403104)  | 老人短期入所施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                                 |          |
| 見守り  | 見守り支援ベッドシステム<br>エスパシアシリーズ<br>パラマウントベッド株式会社 |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                                       |          |
| 令和 6年 3月28日  | 8台   |          |
| <b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b><br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>不眠やトイレ頻回の利用者様の夜間の見守りとして使用している。<br>センサーは起き上がりを検知するモードで使用している。<br>これまで使用していた人感センサーも合わせて使用している。  |  |          |
| <b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b><br>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br>[導入前：①            ②            ③            ] [導入後：①            ②            ③            ]<br>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br><br>まだ導入して間もないので、センサーの精度に対する情報が揃っていないため、見守り業務としての訪室の回数が減ったわけではない。今後、センサーの精度を理解すれば、無駄な訪室業務が減ることを期待している。 |  |          |
| <b>【介護ロボットの不都合な点】</b><br>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。<br><br>現時点では特にありません。   |  |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月 26日

| 法人名   | 機器導入事業所名              | 施設の種別     |
|---|-----------------------|-----------|
| 社会福祉法人高嶺福祉会   | 特別養護老人ホームホーム<br>初富の里2 | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名            |           |
| 1. 見守り<br>2. 見守り機器の導入に伴う通信環境整備  | 眠り SCAN<br>Wi-Fi 環境構築 |           |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数                  |           |
| 令和 6年 1月 31日  | 5台                    |           |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>使用する業務：見守り（特に夜間） 使用頻度：毎日<br/>夜間の見守り、また入居者の状況変化を察知できるように使用している。<br/>夜間の睡眠状況のデータを収集し、日中の活動量を増やす等、ケアに反映させている。</p>   |                       |           |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>〔導入前：① 60分 ② 1人 ③ 30日〕〔導入後：① 30分 ② 1人 ③ 30日〕<br/>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等を活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>睡眠状況を把握することで、主に夜間の介護従事者の見守りの負担が軽減された。離床も予測できることから、朝の介助の負担軽減にもなった。</p> |                       |           |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>多動傾向にある入居者に対しては、細かく動きをひろってしまうため、覚醒しているのかいないのか、正確なデータが収集しづらいと感じた。</p>   |                       |           |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 21日

| 法人名   | 機器導入事業所名                                      | 施設の種別    |
|---|---|----------|
| 社会福祉法人 薄光会  | 特別養護老人ホーム三芳光陽園                                | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名                                    |          |
| 見守り   | 見守りケアシステム M2<br>FB-035・L-3・B30V M2 Wi-Fi (DM) |          |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数  |          |
| 令和 6年 1月 22日  | 1台  |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起居動作、歩行が不安定であるが、独自での起居動作ができ、認知症によりナースコールが使用できない方を対象に夜間帯、日中の静養時使用しています。</li> </ul>   |   |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①40分/日 ②3人/日 ③30日〕〔導入後：①10分/日 ②3人/日 ③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該機器を使用している方は、頻繁にヒヤリハットや事故報告がありましたが、導入後はベッドからの起き上がりに伴う転倒に関するヒヤリハット、事故報告が無くなりました。</li> <li>・夜間の巡回数も減少し、職員の精神的な負担軽減にも繋がっています。</li> <li>・他の利用者に関わる時間も増えています。</li> </ul> |   |          |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前にも同機種を導入している為、スムーズに活用できています。</li> <li>・職員の意識の問題ですが、慣れてくるとコールがあっても、いつものことと対応が遅れてしまったり、機器の機能を過信し頼りすぎないことも重要です。</li> </ul>   |   |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月29日

| 法人名   | 機器導入事業所名     | 施設の種別       |
|---|--------------|-------------|
| 株式会社長谷工シニアウエル<br>デザイン   | ブランシェールケア西千葉 | 特定施設入居者生活介護 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名   |             |
| 見守り   | LIFELENS     |             |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数         |             |
| 令和6年2月1日  | 57台          |             |
| <p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b><br/>           ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br/>           夜間帯（22時・1時・4時）の安否確認。<br/>           日中の起き上がりアラート感知6名の対応。</p>  |              |             |
| <p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b><br/>           ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>           [導入前：①200分 ②日中7・夜間3 ③30 ]<br/>           [導入後：①40分 ②日中7・夜間2 ※6月の想定。現状は3のまま ③30 ]<br/>           ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br/><br/>           排泄の見直しを併せて行っているため、夜間の安否確認が大幅な時間短縮となっている。<br/>           本格使用がこれからのため、現状人員削減には至っていないが6月に夜勤者の削減を予定している。<br/>           以前のセンサーより反応が早いため、夜間はもちろん日中のアラートにも迅速な対応ができている。今後転倒事故の削減に繋がる実感がある。</p> |              |             |
| <p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b><br/>           ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。<br/>           不都合…現状は特になし。感度が良く、アラートの発報にタイムラグが少ない。</p>  |              |             |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月15日

| 法人名   | 機器導入事業所名  | 施設の種別      |
|---|---|------------|
| 生活介護サービス株式会社  | グループホームさざんか   | 認知症グループホーム |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名  |            |
| ①見守り<br>②見守り機器の導入に伴う通信環境整備  | ①見守り介護ロボット aams B018-AAMSKS および管理マスターサーバー、連動ネットワークカメラ<br>②Wi-Fi ルーターの設置 (ハブアッシャー WAPS-1266) |            |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数  |            |
| 令和5年1月29日   | ① 2台<br>② 一式  |            |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>導入時に取り扱い説明会を実施し、日々使用しております。看取りが必要な方、落ち着きの無い方、新しく入居された方を対象に使用しております。パソコンだけでなく、タブレットやスマホでバイタルや体動、睡眠の質を見るのに使用しております。</p> <p>異常時には、カメラの映像からも確認出来ますので、夜間スタッフからも好評です。</p>  |   |            |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>[導入前：① 30 ② 6 ③ 30] [導入後：① 18 ② 5 ③ 30]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>主な効果としては、看取りの方の居室への訪問回数が減り、職員の労働軽減だけでなく、ご利用者の睡眠の妨げを防ぎ、接触回数も減りましたので、感染症リスクも減りました。体調が数値化出来ますので、医師やご家族と早めに共有できるので今後の良い介護に繋がります。</p> <p>夜間時の見回り回数も減り、職員に好評です。</p> |   |            |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>とても便利な機械ですが、設定などが苦手な職員もいます。社内勉強会など定期的に開催していきます。全ベッドに設置すればかなりの効果が期待できますが、費用的に厳しいですので、今後も補助金を有効活用して台数を増やしていきたいです。</p>  |   |            |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月15日

| 法人名   | 機器導入事業所名  | 施設の種別      |
|---|---|------------|
| 生活介護サービス株式会社  | グループホームさくら草   | 認知症グループホーム |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名  |            |
| ①見守り<br>②見守り機器の導入に伴う通信環境整備  | ①見守り介護ロボット aams B018-AAMSKS および管理マスターサーバー、連動ネットワークカメラ<br>②Wi-Fi ルーターの設置 (ハブアッシャー WAPS-1266) |            |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数  |            |
| 令和5年1月29日   | ①2台<br>②一式  |            |
| <b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b><br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>導入時から使用しております。看取りが必要な方、落ち着いた方の無い方、新しく入居された方を対象に使用しております。パソコンだけでなく、タブレットやスマホでバイタルや体動、睡眠の質を見るのに使用しております。<br>異常時には、カメラの映像からも確認出来ますので、夜間スタッフからも好評です。   |   |            |
| <b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b><br>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br>〔導入前：① 30 ② 6 ③ 30 〕〔導入後：① 18 ② 5 ③ 30 〕<br>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br>主な効果としては、看取りの方の居室への訪問回数がかなり減り、労働軽減だけでなく、利用者の睡眠の妨げを防ぎ、接触回数も減りましたので、感染症リスクも減りました。体調が数字化出来ますので、医師やご家族と共有できるのも良いです。<br>夜間時の見回りも減り、職員に好評です。出来れば、インカムと一緒に全ベッドに欲しいです。 |   |            |
| <b>【介護ロボットの不都合な点】</b><br>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。<br>とても便利な機械ですが、設定などが苦手な職員もいます。社内勉強会など定期的に開催していきたいです。全ベッドに設置すればかなりの効果が期待できますが、費用的に厳しいですので、これからも補助金を有効活用させて頂きたいです。  |   |            |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月26日

| 法人名  | 機器導入事業所名                                 | 施設の種別   |
|--|--|---------|
| 社会福祉法人 千葉県厚生事業団  | ひかり隣保館訪問介護事業所                            | 訪問介護事業所 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                               |         |
| ①見守り<br>見守り機器の導入に伴う通信環境整備  | ① 眠り解析センサー M-sleep<br>通信環境整備等一式(工事及び備品等) |         |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                                     |         |
| 令和 6年 2月 16日   | 1 台                                      |         |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスを提供する際の準備・片付け中にベッドからの転落を防止する。</li> <li>・サービスの提供開始・終了時に体調の確認をする。</li> <li>・体調不良時の早期発見と転倒・転落防止。</li> </ul>   |  |         |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>         [導入前：① 15分 ② 1人 ③ 日] [導入後：① 10分 ② 1人 ③ 31日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒・転落に繋がる危険性をモニターで確認ができることにより未然に防ぐことができるようになった。</li> <li>・夜間の睡眠状況の確認ができることで、生活状況の把握をすることができた。</li> <li>・訪室をしなくても利用者の様子をリアルタイムで利用者の様子が把握ができ、状況に応じたケアの実践が可能になりました。</li> <li>・眠り解析センサー M-sleep の導入により、呼吸数や心拍数が把握できるため、状況確認等の訪室機会を減らすことができ、介護者の負担軽減と新型コロナウイルスの感染対策に有効である。</li> </ul> |  |         |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主に脈拍・呼吸状態の把握をする方にも使用したいがエアマットとの併用ができない。</li> </ul>   |  |         |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月20日

| 法人名  | 機器導入事業所名                                | 施設の種別    |
|--|---|----------|
| 社会福祉法人沼風会  | 特別養護老人ホーム沼風苑                            | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                              |          |
| 見守り  | エスパシアシリーズ 離床キャッチ搭載<br>KA-N1411F NU-3200 |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                                    |          |
| 令和 6年 3月13日  | 12台                                     |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>離床キャッチには起き上がり、端座位、立ち上がり、見守りという機能が有り、今まではフットコール（靴を履いている時に鳴る）が一番早い対応方法で、多動な方は駆け付けても間に合わないケースが多かった。今回起き上がりの時点で鳴るようになり、今までよりも早い段階で駆け付ける事が出来るので、事故防止に繋がっている。</p>   |   |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>         [導入前：① 5分 ② 1 ③ 30 ] [導入後：① 3分 ② 1 ③ 30 ]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>導入前は、駆け付けた時には既に転んでしまっているケースがあったが、導入後のセンサーベットの使用されている方は、立ち上がる前に鳴る事によって、事故に繋がるケースが減少している。</p> |   |          |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p>  |   |          |



(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月20日

|  |   |          |
|--|---|----------|
| 法人名  | 機器導入事業所名                                | 施設の種別    |
| 社会福祉法人沼風会  | ショートステイサービス沼風苑                          | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                              |          |
| 見守り  | エスパシアシリーズ 離床キャッチ搭載<br>KA-N1411F NU-3200 |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                                    |          |
| 令和 6年 3月13日  | 3台                                      |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>離床キャッチには起き上がり、端座位、立ち上がり、見守りという機能が有り、今まではフットコール（靴を履いている時に鳴る）が一番早い対応方法で、多動な方は駆け付けても間に合わないケースが多かった。今回起き上がりの時点で鳴るようになり、今までよりも早い段階で駆け付ける事が出来るので、事故防止に繋がっている。</p>   |   |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>③ 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>         [導入前：① 5分 ② 1 ③ 30 ] [導入後：① 3分 ② 1 ③ 30 ]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>導入前は、駆け付けた時には既に転んでしまっているケースがあったが、導入後のセンサーベットを使用されている方は、立ち上がる前に鳴る事によって、事故に繋がるケースが減少している。</p> |   |          |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p>  |   |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月20日

| 法人名  | 機器導入事業所名                                | 施設の種別    |
|--|---|----------|
| 社会福祉法人沼風会  | 特別養護老人ホーム沼風苑新館                          | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                              |          |
| 見守り  | エスパシアシリーズ 離床キャッチ搭載<br>KA-N1411F NU-1610 |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                                    |          |
| 令和 6年 3月13日  | 11台                                     |          |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】<br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>離床キャッチには起き上がり、端座位、立ち上がり、見守りという機能が有り、今まではフットコール（靴を履いている時に鳴る）が一番早い対応方法で、多動な方は駆け付けても間に合わないケースが多かった。今回起き上がりの時点で鳴るようになり、今までよりも早い段階で駆け付ける事が出来るので、事故防止に繋がっている。  |   |          |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】<br>② 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br>〔導入前：① 5分 ② 1 ③ 30 〕〔導入後：① 3分 ② 1 ③ 30 〕<br>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br>導入前は、駆け付けた時には既に転んでしまっているケースがあったが、導入後のセンサーベットを使用されている方は、立ち上がる前に鳴る事によって、事故に繋がるケースが減少している。 |   |          |
| 【介護ロボットの不都合な点】<br>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。   |   |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 6 年 2 月 19 日

| 法人名  | 機器導入事業所名                              | 施設の種別    |
|--|---------------------------------------|----------|
| 公益財団法人日産厚生会  | 佐倉ホワイエ                                | 介護老人保健施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                            |          |
| 排尿支援   | 排尿予測デバイス<br>DFreeProfessional Wi-Fi 版 |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                                  |          |
| 令和 6 年 1 月 12 日  | 1 台                                   |          |
| <b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b><br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>主にトイレに行けるが、パットにも失禁してしまう方に使用し、排尿のタイミングを「見える化」することで無駄なトイレ誘導やオムツ交換を軽減し介護業務の見直しとオムツ使用料の削減及び DFree を外した後でもトイレ排泄が可能なのか検証する事を目的として使用する。  |                                       |          |
| <b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b><br>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br>[導入前：① ② ③ ] [導入後：① ② ③ ]<br>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br><div style="text-align: center;">導入前      導入後</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ成功及びオムツ排泄なし A 氏 17% ⇒ 44% に向上した。</li> <li style="padding-left: 100px;">B 氏 20% ⇒ 26% に向上した。</li> <li style="padding-left: 100px;">C 氏 72% ⇒ 93% に向上した。</li> <li>・オムツの使用枚数が減少し、職員の排泄ケアの意識が向上した。</li> </ul> |                                       |          |
| <b>【介護ロボットの不都合な点】</b><br>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。<br>装着シートにはめて使用する為、皮膚トラブルに注意が必要である。<br>体型や皮膚の厚さによりの確な膀胱の位置を把握するのに時間を要する。  |                                       |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月26日

| 法人名  | 機器導入事業所名                                       | 施設の種別     |
|--|--|-----------|
| 社会福祉法人 檀生会   | 特別養護老人ホーム<br>山の手フラワーヒル                         | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                                     |           |
| 見守り  | ①aams (アアムス) ②ネットワークカメラ<br>③感圧センサー ④管理マスターサーバー |           |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数   |           |
| 令和6年2月5日   | ①②③各10台<br>④1台                                 |           |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ベッド上で体動があり立位保持が不安定な方、心疾患等によりバイタルが不安定な方の見守りとして常時使用している。</p> <p>また睡眠状態の把握が可能であり、睡眠の質とリズムの把握にも活用できている。</p> <p>ベッド上での状態が介護記録に連動しているため、記録入力負担が軽減されている。</p>   |  |           |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ②作業人数（人/日） ③作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①300分 ②8人 ③30日〕〔導入後：①225分 ②8人 ③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ映像への切り替えはアラーム報知時にのみに設定しているため、定時巡回は継続している状況である。ただし記録の入力は省くことができているため、0.5分×15回×10人=75分の時間短縮となった。4人部屋であるため、全員に機器を設置しなければ訪室回数を削減することはできないので、全室導入を検討したい。</li> <li>・睡眠状態やリズムを把握できたことで、排泄介助等のタイミングが調整できるようになり、ご利用者を無理に起こすことなく介助に入れるようになった</li> <li>・バイタルの把握が容易になり、特に夜勤職員の精神的負担が軽減された。</li> <li>・アラーム報知の設定項目が細かく、ベッド上での体動が長く続いた時にアラームが鳴るので、早目に対応できるようになった。</li> </ul> |  |           |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アラーム報知時のカメラ画像への切り替えに時間を要する、もしくはエラーとなり非表示になることがある。</li> <li>・ご利用者が臥床していない状況でもアラームが誤発報することがある。</li> </ul>   |  |           |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月26日

| 法人名  | 機器導入事業所名   | 施設の種別     |
|--|--|-----------|
| 社会福祉法人 檀生会   | 特別養護老人ホーム<br>山の手フラワーヒル<br>(ユニット)                           | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名   |           |
| 見守り  | ①aams (アアムス) ②ネットワークカメラ<br>③感圧センサー<br>④管理マスターサーバー (多床室と兼用) |           |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数   |           |
| 令和6年2月5日   | ①②③各6台<br>④1台 (兼用)   |           |
| <p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ベッド上で体動があり立位保持が不安定な方、心疾患等によりバイタルが不安定な方の見守りとして常時使用している。</p> <p>また睡眠状態の把握が可能であり、睡眠の質とリズムの把握にも活用できている。</p> <p>ベッド上での状態が介護記録と連動しているため、記録入力負担が軽減されている。</p>  |  |           |
| <p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数 (分/日) ②作業人数 (人/日) ③作業日数 (ひと月あたり)</p> <p>[導入前: ①180分 ②8人 ③30日] [導入後: ①135分 ②8人 ③30日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ映像への切り替えはアラーム報知時にのみに設定しているため、定時巡回は継続している状況である。ただし記録の入力は省くことができているため、0.5分×15回×6人=45分の時間短縮となった。</li> <li>・睡眠状態やリズムを把握できたことで、排泄介助等のタイミングが調整できるようになり、ご利用者を無理に起こすことなく介助に入れるようになった。</li> <li>・バイタルの把握が容易になり、特に夜勤職員の精神的負担が軽減された。</li> <li>・アラーム報知の設定項目が細かく、ベッド上での体動が長く続いた時にアラームが鳴るので、早目に対応できるようになった。</li> </ul> |  |           |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アラーム報知時のカメラ映像への切り替えに時間を要する、もしくはエラーとなり非表示になることがある。</li> <li>・ご利用者が臥床していない状況でもアラームが誤発報することがある。</li> </ul>  |  |           |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月29日

| 法人名   | 機器導入事業所名        | 施設の種別      |
|---|-----------------|------------|
| 社会福祉法人 長寿の里   | かしわ翔裕園          | 老人デイサービス事業 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名      |            |
| 入浴支援ロボット  | 株式会社 いうら LS-310 |            |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数            |            |
| 令和6年1月30日   | 1台              |            |
| <b>【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】</b><br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>使用業務：入浴介助。使用頻度：毎日。現在、使用に向け業者による研修(使用方法)を実施中。研修を終えた職員から実使用をしている。今まで、浴槽に入るのが怖いなどの理由で浴槽に浸かる事が出来なかった方々が、ロボットを使用する事で、安全安心して入浴する事が出来ている。   |                 |            |
| <b>【介護ロボットの導入効果(導入による業務改善状況等)】</b><br>導入する以前は、シャワー浴で対応しており、お一人につき20分位である。導入後、確り湯船に浸かる事で、時間(5分程度)は今迄よりも対応時間が増えたが、お客様の不安の解消及び職員の腰痛の軽減が図られている。実際使用したお客様からも、通所に来て浴槽に浸かる事ができてよかった等、満足度の向上も図られている。また、ロボットを設置した事で、在宅で入浴ができない方々へのサービスの提供など、新たな顧客へのアピールとしても今後効果が期待される。 |                 |            |
| <b>【介護ロボットの不都合な点】</b><br>現状、使い勝手に関して問題等はない。操作自体が、安易で簡単な為、導入直後ではあるが、問題なく使用できている。但し、体格の大きい方については使用が困難である。   |                 |            |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月22日

|  |                     |          |
|--|---------------------|----------|
| 法人名  | 機器導入事業所名            | 施設の種別    |
| 社会福祉法人 長寿の里  | 特別養護老人ホーム<br>鎌ヶ谷翔裕園 | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名          |          |
| 見守り支援  | バイオシルバー aams        |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                |          |
| 令和6年1月18日  | 18台                 |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・18台を常時設置、個別に必要な部分（起き上がり、離床）に警報を設定している。</li> </ul>  |                     |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起き上がりや離床の警報を設定することで足元センサーやセンサーマットを外すことが出来た。</li> <li>・夜間帯おむつ外しのある方の睡眠状況を確認。入眠状態で行っていることがわかり、介助の時間や回数の変更を検討することが出来た。</li> <li>・警報を設定していない方の居室内事故発生時、グラフを確認することで何時に事故が起きたか推測する事が出来た。対策として警報を設定することで再発防止に努められている。</li> <li>・看取り時、心拍低下の警報設定をしてあったことで氏の状態把握がしやすかった。</li> </ul> |                     |          |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体の設置場所によってだと思いが、警報が鳴るまでに少し時間が掛かる場合がある。（設置場所を固定するためシール配布済み）</li> <li>・心拍低下の警報はあるが、心拍停止や呼吸停止の警報がないため看取りの方の状態把握がしにくい部分もある。</li> <li>・日中の活用が上手く出来ていない印象がある。</li> </ul>  |                     |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月22日

| 法人名   | 機器導入事業所名                    | 施設の種別    |
|---|-----------------------------|----------|
| 社会福祉法人 長寿の里   | 特別養護老人ホーム<br>鎌ヶ谷翔裕園 (ユニット型) | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名                  |          |
| 見守り支援   | バイオシルバー aams /              |          |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数                        |          |
| 令和6年1月18日   | 8台                          |          |
| <b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b><br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>・8台を常時設置、使用警報は必要な方のみ設定。  |                             |          |
| <b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b><br>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br>・今までは離床センサーしかなかったが起き上がりや体動、心拍停止時に通知が来るように設定でき、個々に合わせて設定した。<br>・覚醒状態もリアルタイムで確認出来るため、朝の起床介助の順番も調整して対応することが出来ている。<br>・夜間の入眠状態を1週間分の確認ができ、夜間寝付けない方を、日中は極力起きて頂いたり対応が出来た。<br>・心拍や呼吸の低下でも警報が使えるので、これまで把握出来にくかったリスクが把握できた。<br>・設定の変更が容易である。 |                             |          |
| <b>【介護ロボットの不都合な点】</b><br>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。<br>・警報がPHSとタブレット両方に飛んで来るため2つの端末の確認が手間となり、タブレットの方を閉じたままになることが多い。またパソコンの警報を止め忘れてしまうこともある。<br>・お客様ご自身でセンサーの位置を変えたり、コンセントを抜いてしまい、いつの間にか通信エラーになっていることがある。<br>・日中の使用に関して活用が上手く出来ていない。   |                             |          |



(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月26日

| 法人名   | 機器導入事業所名   | 施設の種別        |
|---|--|--------------|
| 株式会社ワカバ   | グループホームワカバまつど                                    | 認知症対応型共同生活介護 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名                                       |              |
| 見守り支援ベッドシステム  | エスパシアシリーズ KA-N1421J<br>(ナースコール中継ユニット NU-1610 含む) |              |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数   |              |
| 令和6年3月15日   | 4台   |              |
| <p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b></p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br/>                     現状、ベッドから起き上がる際の転倒やベッドからの転落の危険が高い利用者に対して使用しています。利用者の離床動作を見守りながら事故の防止につなげています。また見守り支援システムの機能があることで、職員が直接、居室の方室する回数も減少できるように努めています。</p>  |  |              |
| <p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b></p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>                     [導入前：①40分 ②3人程度 ③30日] [導入後：①30分 ②2.5人程度 ③30日 ]<br/>                     ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br/>                     起き上がり、端座位、離床、見守りの4つから見地のタイミングを設定することができ、利用者の特性に合わせて使い分けができる事は大きなメリットになっています。また、ナースコールと連動しているため居室への見守り回数が削減できるなど介護職の負担軽減にもつながっています。</p> |  |              |
| <p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。<br/>                     現状不都合なことはありません。</p>  |  |              |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月26日

| 法人名   | 機器導入事業所名   | 施設の種別            |
|---|--|------------------|
| 株式会社ワカバ   | 湖北台ケアガーデンワカバ<br>(グループホーム)                        | 認知症対応型共同生活<br>介護 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名                                       |                  |
| 見守り支援ベッドシステム  | エスパシアシリーズ KA-N1421J<br>(ナースコール中継ユニット NU-1610 含む) |                  |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数   |                  |
| 令和6年3月15日   | 4台   |                  |
| <p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b></p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br/> 現状、ベッドから起き上がる際の転倒やベッドからの転落の危険が高い利用者に対して使用しています。利用者の離床動作を見守りながら事故の防止につなげています。また見守り支援システムの機能があることで、職員が直接、居室の方室する回数も減少できるように努めています。</p>  |  |                  |
| <p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b></p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/> 〔導入前：①45分 ②3人程度 ③30日〕〔導入後：①36分 ②2.5人程度 ③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br/> 起き上がり、端座位、離床、見守りの4つから見地のタイミングを設定することができ、利用者の特性に合わせて使い分けができる事は大きなメリットになっています。また、ナースコールと連動しているため居室への見守り回数が削減できるなど介護職の負担軽減にもつながっています。</p> |  |                  |
| <p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。<br/> 現状不都合なことはありません。</p>  |  |                  |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月26日

| 法人名  | 機器導入事業所名   | 施設の種別       |
|--|--|-------------|
| 株式会社ワカバ  | 湖北台ケアガーデンワカバ<br>(小規模多機能型居宅介護)                    | 小規模多機能型居宅介護 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                                       |             |
| 見守り支援ベッドシステム   | エスパシアシリーズ KA-N1421J<br>(ナースコール中継ユニット NU-1610 含む) |             |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数   |             |
| 令和6年3月15日  | 4台   |             |
| <b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b><br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>現状、ベッドから起き上がる際の転倒やベッドからの転落の危険が高い利用者に対して使用しています。利用者の離床動作を見守りながら事故の防止につなげています。また見守り支援システムの機能があることで、職員が直接、居室の方室する回数も減少できるように努めています。  |  |             |
| <b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b><br>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br>〔導入前：①40分 ②3人程度 ③30日〕〔導入後：①30分 ②2.5人程度 ③30日〕<br>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。<br>起き上がり、端座位、離床、見守りの4つから見地のタイミングを設定することができ、利用者の特性に合わせて使い分けができる事は大きなメリットになっています。また、ナースコールと連動しているため居室への見守り回数が削減できるなど介護職の負担軽減にもつながっています。 |  |             |
| <b>【介護ロボットの不都合な点】</b><br>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。<br>現状不都合なことはありません。   |  |             |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月26日

| 法人名   | 機器導入事業所名  | 施設の種別        |
|---|---|--------------|
| 株式会社ワカバ   | グループホームワカバあびこ   | 認知症対応型共同生活介護 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名  |              |
| ① 見守り見守り<br>② 見守り機器の導入に伴う<br>通信環境整備   | ① 眠りSCAN (NN-1520)<br>② Wi-Fi 機器導入 (無線 LAN アクセスポイント等) |              |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数  |              |
| 令和6年3月15日   | 4台  |              |
| <b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b><br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>現状、ベッドから起き上がる際の転倒やベッドからの転落の危険が高い利用者に対して使用しています。利用者の離床動作を見守りながら事故の防止につなげています。また見守り支援システムの機能があることで、職員が直接、居室の方室する回数も減少できるように努めています。   |   |              |
| <b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b><br>① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり)<br>[導入前: ①40分 ②3人程度 ③30日] [導入後: ①25分 ②2.5人程度 ③30日]<br>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用敷設したセンサーから Wi-Fi を通じて、ベッドを利用されている方の呼吸数や心拍数、睡眠状態、覚醒、起き上がり、離床動作などがリアルタイムに情報として送られてくることで、職員が直接居室へ訪室して状況を確認する機会が減少するなどの効果がでています。また、ベッド上で寝ている方の状態をリアルタイムで確認することが出来るため、体調の急な変化に気づくことや居室内での転倒・転落を未然に防ぐことができるようになりました。 |   |              |
| <b>【介護ロボットの不都合な点】</b><br>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。<br>現状不都合なことはありません。   |   |              |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 12月 18日

| 法人名  | 機器導入事業所名                                | 施設の種別               |
|--|---|---------------------|
| 株式会社モアナケア /  | ラプレケア /                                 | 老人居宅介護等事業 (訪問介護等) / |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名                              |                     |
| 入浴支援 /   | いうらシャワー付キャリア LS-310<br>収納式レール LST-100 / |                     |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                                    |                     |
| 令和 5年 11月 16日 /  | 1台                                      |                     |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>入浴介助で毎日使用しています。 /</p>   |   |                     |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①180分/日 ②3人/日 ③ひと月30日〕 /</p> <p>〔導入後：①135分/日 ②4人/日 ③ひと月25日〕 /</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 /</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立位が不安定な利用者も安心して入浴ができています。 /</li> <li>・ヘルパーの心理的不安と肉体的負担の軽減。</li> <li>・入浴時間が短くなることで利用者も介助者も心身の負担が軽減した。</li> </ul> |   |                     |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても使いやすいのでどのヘルパーでも扱う事ができる。 /</li> <li>・何より利用者が安全入れる事で入浴に対して抵抗感が減り誘導時にも気持ち良く入浴してくれる。 /</li> </ul>  |   |                     |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年 4月 1日

| 法人名   | 機器導入事業所名            | 施設の種別             |
|---|---------------------|-------------------|
| 株式会社 福祉開発研究所  | メディクスケアホーム松戸        | 特定施設（介護付き有料老人ホーム） |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名          |                   |
| 見守り   | シルエット見守りセンサーWOS-321 |                   |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数                |                   |
| 令和 6年 2月 22日  | 10台                 |                   |
| <p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b></p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>従来の使用していたセンサーは、寝返りや端坐位になっただけで通知されていた。精度が悪い為か誤作動などもあり。今回導入した見守りセンサーは画像で利用者の状況を確認できる。よって無駄な訪室を防ぐことにより、介護職員の負担が20～30%軽減された。</p>  |                     |                   |
| <p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b></p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>         [導入前：① 60分 ②12人 ③30日] [導入後：① 40分 ②12人 ③30日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>従来のセンサーでは通知の度に居室まで確認の必要があり、状況によっては介助の途中であっても転倒防止のため、訪室しなければならなかった。しかし毎回危険な状態という訳では無く、寝返りや端坐位でテレビを見るための体動でもセンサーの通知もあり、職員の非効率さが介護職員の負担やストレスにもなっていた。今回導入された見守りセンサーでは、直ぐに駆け付ける必要性があるのか？判断出来るため、介護職員の業務効率に大いに貢献している。</p> |                     |                   |
| <p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>直ぐに駆け付ける必要性があるのか？無いのか？を判断するシステムなので、危険が感じられれば駆け付けなければならないのは従来と同じ。なので配置職員を減らすまでには至っていない。又、Wi-Fiによるネットワークを使用しており、Wi-Fiの不調でネットワークが不通となった事があり、職員は盲目の状態を強いられたことがあった。Wi-Fiの不調を修正できる職員もいなかった事から、業者を手配してから復旧するま</p>  |                     |                   |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年 4月 8日

| 法人名  | 機器導入事業所名       | 施設の種別    |
|--|----------------|----------|
| 社会福祉法人 笑顔  | 特別養護老人ホーム からたち | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名     |          |
| 非装着・非侵襲センサー  | 眠りスキャン         |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数           |          |
| 令和 6年 3月 19日   | 14台            |          |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】<br>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。<br>急な状態変化や転倒・ずれ落ちリスクのあるご入居者に対して、マンパワーによる巡視強化の限界解消の為、定時巡視で済むよう、見守り介護ロボットである眠りスキャンを活用している。  |                |          |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】<br>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（14人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br>〔導入前：① ② 14人 ③ 〕〔導入後：① ② 0人 ③ 〕<br>マンパワーによる巡視等介護負担への軽減効果が高く、ご利用者の状態確認の迅速さや転倒・ずれ落ちの予防に有益に機能している為、介護従事者の満足度向上につながっている。 |                |          |
| 【介護ロボットの不都合な点】<br>既に使用実績があり、特記事項無し。  |                |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 1日

| 法人名  | 機器導入事業所名           | 施設の種別    |
|--|--------------------|----------|
| 社会福祉法人千歳会  | 特別養護老人ホーム<br>ちとせ稲毛 | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名         |          |
| 移動ロボット   | リフト Wells リフトキャリー  |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数               |          |
| 令和 6年 1月 31日   | 1台                 |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>個別浴槽に移動ロボットを設置したことにより、入浴業務の負担軽減になった。使用頻度は週6日で稼働している。設置の際に業者から使用方法の研修を介護・看護職員等に行う事で安全に使用する事が出来ている。</p>   |                    |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>         [導入前：①30分 ②2人 ③28日] [導入後：①20分 ②1人 ③28日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>個別浴槽にリフトが付いたことで、個別浴槽で入浴できる入居者が増えた。これまでは、リフトのついている浴槽又は寝台浴槽のある浴室まで移動していたが個別浴槽にリフトが付いたことで、移動時間を削減出来ている。又、衣類の準備が取りに行く時間等も削減する事が出来た。職員もこれまで安全面を考慮して2名で介助を行っていたがリフトが付く事で1名での介助に変更する事が出来た。人員削減や時間の短縮に役立っている。</p> |                    |          |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>使い勝手が悪い等の報告は受けていないが、浴槽へリフトをスライドさせる際に入居者の手の位置等に注意する必要がある。</p>  |                    |          |



(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月20日

| 法人名   | 機器導入事業所名              | 施設の種別    |
|---|-----------------------|----------|
| 社会福祉法人アコモード   | 特別養護老人ホームアコモード (短期入所) | 短期入所生活介護 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名            |          |
| 見守り   | 眠りスキャン                |          |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数                  |          |
| 令和5年12月27日  | 3台                    |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠状況がわかるため、浅眠時の訪室を控えることで入所者の睡眠を妨げることが減った。</li> <li>・睡眠状況がわかるため、覚醒している入所者への夜勤帯のトイレ誘導がタイムリーになった</li> <li>・2週間の睡眠日誌を通じて、不眠への対応を取れるようになった</li> <li>・業務がスムーズに進むことで、職員が入所者と向き合う時間が増えた</li> </ul>  |                       |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数 (分/日)    ② 作業人数 (人/日)    ③ 作業日数 (ひと月あたり)</p> <p>〔導入前：①8時間②1人③30日〕〔導入後：①5時間②1人③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅眠者の覚醒やトイレ誘導の不発が減ることで夜間業務を効果的に進めることができた。</li> <li>・夜間業務を効果的に進めることで、レクリエーションの備品作成などの時間が増え、入所者の満足度向上に寄与する結果となった。</li> <li>・睡眠日誌により夜間帯に睡眠が少ない入所者がわかるようになり、日中の活動量を増やすなどの試みを実施することが可能になった</li> </ul> |                       |          |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械に不慣れな職員がいるため、時間をかけて全員が使用できるように対策したい</li> <li>・睡眠データの運用は難易度が高いが、定期的な研修を受け、使いこなせるように進めていきたい。</li> </ul>   |                       |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月20日

| 法人名  | 機器導入事業所名             | 施設の種別    |
|--|----------------------|----------|
| 社会福祉法人アコモード  | 特別養護老人ホームアクイール（短期入所） | 短期入所生活介護 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名           |          |
| 見守り  | 眠りスキャン               |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数                 |          |
| 令和5年12月27日   | 2台                   |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠状況がわかるため、浅眠時の訪室を控えることで入所者の睡眠を妨げることが減った。</li> <li>・睡眠状況がわかるため、覚醒している入所者への夜勤帯のトイレ誘導がタイムリーになった</li> <li>・2週間の睡眠日誌を通じて、不眠への対応を取れるようになった</li> <li>・業務がスムーズに進むことで、職員が入所者と向き合う時間が増えた</li> </ul>   |                      |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①8時間②1人③30日〕〔導入後：①5時間②1人③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅眠者の覚醒やトイレ誘導の不発が減ることで夜間業務を効果的に進めることができた。</li> <li>・夜間業務を効果的に進めることで、レクリエーションの備品作成などの時間が増え、入所者の満足度向上に寄与する結果となった。</li> <li>・睡眠日誌により夜間帯に睡眠が少ない入所者がわかるようになり、日中の活動量を増やすなどの試みを実施することが可能になった</li> </ul> |                      |          |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械に不慣れな職員がいるため、時間をかけて全員が使用できるように対策したい</li> <li>・睡眠データの運用は難易度が高いが、定期的な研修を受け、使いこなせるように進めていきたい。</li> </ul>  |                      |          |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年1月19日

|   |                         |           |
|---|-------------------------|-----------|
| 法人名   | 機器導入事業所名                | 施設の種別     |
| 社会福祉法人<br>千葉県福祉援護会  | 特別養護老人ホーム<br>ローゼンヴィラはま野 | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名              |           |
| 見守り   | 超音波・赤外線センサー             |           |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数                    |           |
| 令和5年11月10日  | 10台                     |           |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーマットを気にされてしまう方や転倒等の事故が予測される入所者に対して毎日（日中・夜間）使用。</li> <li>・新規入所者に対して身体機能や認知面の確認を含め、入所日から必要な入所者に毎日（日中・夜間）使用。</li> </ul>   |                         |           |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）<br/>         [導入前：①150 ②5 ③30] [導入後：①200 ②5 ③30]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーマットから赤外線センサーへ変更した事により、センサー反応回数は増加しているが、センサーマットと比較し早い段階で訪室する事が出来ている。<br/>効果として、転倒等の事故件数の減少に繋げる事が出来ている。</li> <li>・ご自身でセンサーマットを動かされてしまう入所者は赤外線センサーに変更後気にされる様子はない為、安全に過ごす事に繋がっている。</li> <li>・新規入所者の入所後の様子確認として、赤外線センサーを使用する事で行動のアセスメントに繋げる事が出来ている。</li> <li>・導入にあたり、作業人数や日数の変化は見られていないが、事故件数等の変化から安全に過ごす環境に繋げる事が出来ている。</li> </ul> |                         |           |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。<br/>現時点で不都合な点はございません。</p>   |                         |           |

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 6 年 1 月 23 日

| 法人名  | 機器導入事業所名          | 施設の種別    |
|--|-------------------|----------|
| 社会福祉法人温光会  | 特別養護老人ホームみはま苑     | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別  | 介護ロボットの製品名        |          |
| 見守り  | パラマウントベッド「眠りスキャン」 |          |
| 介護ロボット導入時期   | 導入台数              |          |
| 令和5年12月26日   | 10台               |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2階フロアにて特養9台（短期入所も2台）、3階フロアにて特養1台（短期入所も2台）の計14台設置を行った。脈拍や心拍異常、離床の事実などのアラーム設定については、業者より最初の数週間は平均値を調べてから個人ごとに設定しないと、アラームが鳴りまくってしまい本末転倒になるので、設定しない方がよいと助言をもらったため、しばらくの間は、データ観測という形となる。</li> <li>・体調の思わしくない方、夜間帯の睡眠状況を知りたい方など現場介護職員の意見を踏まえ、優先的に人選を行い設置した。</li> <li>・現在、特養10名、短期入所4名の計14名分のデータを集積している。</li> <li>・2階、3階ケアステーション、2階医務室に計3台のノートPCを設置しているが、そのPCで介護ソフトと眠りスキャン両方を確認できるようにして、職員がいつでもみれるようにしている。管理PC（デスクトップ）は、1階特養相談室に設置し、設定変更などの調整を管理者が行えるようにした。同時に、「生活相談員とケアマネージャーも1階でリアルタイムでデータを確認できるようになっている。</li> <li>・業者より、すこし操作に慣れてから業者の説明会（勉強会）を2月あたりで行いたいとのことで、現在、内部研修扱いで調整中である。</li> </ul> |                   |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①夜間の巡回4回②夜勤3名③30日〕〔導入後：①夜間の巡回3回②夜勤3名③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p>   |                   |          |

- ・要介護5の食事もなかなか摂取できないレベルの方の心拍が100前後平均のところは120ぐらいに頻脈になっているのにすぐに気づくことができ、看護師と連携して健康観察を行うことができた。その把握のスピードに驚いた。
- ・また喘鳴が悪化しSP02が90前後で救急搬送になるか、ならないかの呼吸器系の体調不良者にも使用し、心拍、呼吸の回数、入眠できているかどうかの状況が可視化して確認することができた。他利用者様も同様だが、夜間帯に対象者が「生きている」「呼吸している」ということがケアステーションで常時確認できることは、何よりも夜勤者の精神的負担の軽減につながっていると感じた。
- ・起床、離床、臥床の具体的な時間帯の把握、排泄介助に入った具体的な時間帯の把握、心拍、呼吸の平均値などが可視化できるようになって、対象者の生活リズムを多職種で共有できるようになった。
- ・心拍、呼吸、睡眠状態がリアルタイムでわかるので、巡視の回数を減らすことができた。

#### 【介護ロボットの不都合な点】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
プレ段階から把握していたことだが、不随意運動のある方、エアマットの方の場合、センサー感知が実際と異なることが多いため、使用しても大丈夫なときと信ぴょう性にかけるときとがある。

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6 年 / 月 23 日

|   |                   |          |
|---|-------------------|----------|
| 法人名   | 機器導入事業所名          | 施設の種別    |
| 社会福祉法人温光会   | 特別養護老人ホームみはま苑     | 短期入所生活介護 |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名        |          |
| 見守り   | パラマウントベッド「眠りスキャン」 |          |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数              |          |
| 令和5年12月26日  | 4台                |          |
| <p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2階フロアにて短期入所2台（特養も9台）、3階フロアにて短期入所2台（特養1台）の計14台設置を行った。脈拍や心拍異常、離床の事実などのアラーム設定については、業者より最初の数週間は平均値を調べてから個人ごとに設定しないと、アラームが鳴りまくってしまい本末転倒になるので、設定しない方がよいと助言をもらったため、しばらくの間は、データ観測という形となる。</li> <li>・体調の思わしくない方、夜間帯の睡眠状況を知りたい方など現場介護職員の意見を踏まえ、優先的に人選を行い設置した。</li> <li>・現在、特養10名、短期入所4名の計14名分のデータを集積している。</li> <li>・2階、3階ケアステーション、2階医務室に計3台のノートPCを設置しているが、そのPCで介護ソフトと眠りスキャン両方を確認できるようにして、職員がいつでもみれるようにしている。管理PC（デスクトップ）は、1階特養相談室に設置し、設定変更などの調整を管理者が行えるようにした。同時に、「生活相談員とケアマネージャーも1階でリアルタイムでデータを確認できるようになっている。</li> <li>・業者より、すこし操作に慣れてから業者の説明会（勉強会）を2月あたりで行いたいとのことで、現在、内部研修扱いで調整中である。</li> </ul> |                   |          |
| <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①夜間の巡回4回②夜勤3名③30日〕〔導入後：①夜間の巡回3回②夜勤3名③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p>  |                   |          |

- ・要介護5の食事もなかなか摂取できないレベルの方の心拍が100前後平均のところは120ぐらいに頻脈になっているのにすぐに気づくことができ、看護師と連携して健康観察を行うことができた。その把握のスピードに驚いた。
- ・また喘鳴が悪化しSP02が90前後で救急搬送になるか、ならないかの呼吸器系の体調不良者にも使用し、心拍、呼吸の回数、入眠できているかどうかの状況が可視化して確認することができた。他利用者様も同様だが、夜間帯に対象者が「生きている」「呼吸している」ということがケアステーションで常時確認できることは、何よりも夜勤者の精神的負担の軽減につながっていると感じた。
- ・起床、離床、臥床の具体的な時間帯の把握、排泄介助に入った具体的な時間帯の把握、心拍、呼吸の平均値などが可視化できるようになって、対象者の生活リズムを多職種で共有できるようになった。
- ・心拍、呼吸、睡眠状態がリアルタイムでわかるので、巡視の回数を減らすことができた。

**【介護ロボットの不都合な点】**

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  
プレ段階から把握していたことだが、不随意運動のある方、エアマットの方の場合、センサー感知が実際と異なることが多いため、使用しても大丈夫なときと信ぴょう性にかけるときとがある。

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月25日

| 法人名   | 機器導入事業所名  | 施設の種別     |
|---|---|-----------|
| 社会福祉法人 貴陽福祉会  | 特別養護老人ホーム<br>第二南花園 (従来型)  | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別   | 介護ロボットの製品名  |           |
| ①見守り<br>②見守り機器の導入に伴う<br>通信環境整備  | ①見守り介護ロボット aams B018-AAMSKS<br>および管理マスターサーバーNUCSM03<br>②Wi-Fi ルーターの設置 (ハブアッポ WAPS-1266 他) |           |
| 介護ロボット導入時期  | 導入台数  |           |
| 令和5年2月29日   | ① 4台<br>② 一式  |           |
| <p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>3月から、看取りが必要な方や体力が落ちている方を対象に、毎日使用しております。スタッフ用PCだけでなく医務室のパソコンでも、バイタルや体動、睡眠の質を見ることが出来ますので、看護師や提携の医師とも情報を共有出来、とても便利です。</p> <p>夜勤のスタッフからも、不安が減りましたとの声が上がっております。</p>  |   |           |
| <p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり)</p> <p>[導入前: ① 30 ② 10 ③ 30] [導入後: ① 22 ② 8 ③ 30]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>主な効果としては、看取りの方の居室への訪問回数が減り、介護職員の精神的負担も減りました。体調が数字化され保存も出来ますので、医師やご家族と早めに共有できます。いざという時の心の準備も出来ます。出来れば、インカムと一緒に全ベッドに欲しいです。</p> |   |           |
| <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>とても便利な介護ロボットですが、もっと使いこなせるようになりたいです。社内勉強会など定期的に開催していきます。全ベッドに設置すればかなりの効果が期待できますが、費用的に厳しいですので、これからも補助金等を有効活用させて頂きたいです。</p>  |   |           |